

「成熟・衰退期」に於ける「筋の良い研究テーマ」 の発掘法

—こんな方法でやれば、あなたの会社の「R&D」は変わる—

第1部 研究開発部門の「知的基盤(インフラ)」の構築を早く進めるべき

1. 「成熟・衰退期」における筋の良い研究テーマの生み出し方
 1. 会社経営に重要な三つの「知的基盤」
 2. これからは専門知識だけでは生き残れない
 3. 研究開発部門の「知的基盤」の構築が遅れた理由
 4. 研究開発環境は激変した
 5. 「いけいけどんどん」の時代は終わった
 6. 研究者・技術者は変わらなければならない
 7. 会社を変えるのはむずかしいのか
 8. ニッチ領域を広げながらコア（核）事業を育てる

第2部 企業における研究開発部門の現状

1. 現状における R&D の問題点は何か
2. このままでは、いずれ研究テーマはなくなる
3. 筋の悪い研究テーマを残してはならない
4. 筋の良い研究テーマを生み出す責任は誰が負うのか
5. この際、お互い本音で語ろう
6. 問題の本質を避けてはならない
7. 研究開発部門の「知的基盤」をつくる

第3部 いまある情報からニーズをあぶりだす

1. 新製品は既存技術の組み合わせ
2. 不便を感じない時代、新しいニーズをどう探すか
3. 筋の良い研究テーマを生み出さねばならない
4. 社内・社外にあるシーズ（技術）からニーズ（市場要求）を炙り出す
5. おいしいコンセプトはこの領域

6. 研究開発とは難しいことに挑戦すること、という思い込みがあった
7. 誰もが気づく領域は忙しくて疲れるだけで儲からない
8. 実験研究をやる前に調査研究をする
9. 調査研究には「目的調査」と「探索調査」がある
10. 自ら情報を収集し、整理分析する必要がある
11. 創造のプロセスは情報活用にある

第4部 ドライ技術を使ってアナログ技術をさらに鍛える

1. 課題を創出して、解決方法を技術化することで生産性が高まった
2. 不足している創造力とドライ技術の活用
3. これではアメリカに勝てない
4. このままでは、日本の創造力は衰退するのみ
5. 日本人はドライ技術を使うのが苦手
6. ドライ技術を使いこなせば生産性は飛躍的に上がる
7. とにかく情報の収集・整理を行う